

土地改良団体における 男女共同参画推進ニュース 2024.3 第14号

「2025年度までに理事に占める女性の割合を10%以上に、女性理事が登用されていない組織数をゼロに」新時代にふさわしい土地改良団体の創造を目指して進めましょう！



2023年度アーカイブ

8/30

水土里ネット女性の会と学会が初コラボ、「どうする男女共同参画」をテーマに議論 ～2023年度(第72回)農業農村工学会大会講演会～ 連携シンポジウム：土地改良と農業農村工学 どうする男女共同参画

【開催趣旨】

ひとりひとりがイキイキと活躍する農業・農村を実現するために何が必要か、農政局、県、学会、水土里ネット女性の会、大学等の関係者を交え議論をすることで、仲間づくり、新しい発想や魅力発信につながることを期待して開催。

宮崎雅夫都道府県水土里ネット会長会議顧問 演題「ウェルビーイング農山漁村」

土地改良の分野における男女共同参画の推進は、少子高齢化等、社会の変化が今後さらに進展する中、取り組まなければならない最重要課題です。
ウェルビーイング※農山漁村の中でも大きな課題である。



※ウェルビーイング (Well-being) は、well (よい) と being (状態) からなる言葉。

9/27、28

全国水土里ネット女性の会 初の地方開催！ ～水土里ネット 男女共同参画推進大会 in Kazuno～ 大会テーマ：今、はじめる。まずはあなたの「まち」の土地改良区から

【開催趣旨】

全国の「水土里ネット女性の会」の会員及び関係者約200人が参加。男女共同参画の先進的な取組を研修し、意見を述べ合い、互いのネットワークを広げるとともに、土地改良区の将来の体制強化についてそれぞれが考える機会として開催。

主催者挨拶 根本由紀子全国水土里ネット女性の会会長

男女共同参画は、男女がそれぞれの能力を發揮して輝き、活躍できる環境を実現するものであり、水土里ネットでも積極的に取り組み、運営に参画する人材の多様化を図って行かなければいけない。



10/11

優良事例として「土地改良における男女共同参画の取組」が紹介 ～第45回 全国土地改良大会 福井大会～ 「水土里 (みどり)」がある「幸福 (しあわせ)」がある「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～

◇定司俊憲 南砺市土地改良区理事長 『土地改良区における女性理事登用』

我々には、土地改良をより良くし次世代につなげていく責務がある。
女性理事登用が土地改良区の発展につながると信じて、次世代のためにも前向きに取り組んでいきましょう。
女性理事登用にはいろいろな課題がある。課題解決に向けて、行政のバックアップをお願いしたい。

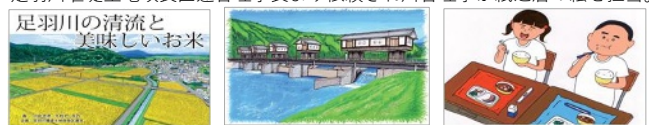


◇川合久利子 福井県土地改良事業団体連合会理事 ふくい水土里ネット女性の会副会長 『「女性理事」として』

水 (農業用水) 土 (農地) 里 (人の営み) を皆の力で未来の子どもたちへ



足羽川堰堤土地改良区連合理事長より依頼され川合理事が紙芝居の絵を担当。



11/8

水土里ネット女性の会のメンバーによる交流 ～令和5年度全国水土里ネット女性の会研修会～

柴田昌平 ドキュメンタリー映画監督講演

全国の水土里ネット女性の会より115名が出席。
本研修会では、土地改良団体におけるアンコンシャス・バイアス※への理解と解消のために専門家による講演と意見交換会を行った。

※アンコンシャス・バイアスは、無意識 (unconscious) の思い込み (bias) の意。



宮崎雅夫都道府県水土里ネット会長会議顧問を囲んで



農業をテーマとした記録映画『百姓の百の声』では、4年を掛けて全国の農家を訪ね自然と向き合う人たちの姿をありのままに映し出している。講演前には、土地改良区の管理状況について現地視察をしていただいた。今回は、「伝えること」の大切さについて映像を交え講演いただいた。

グループワーク

【意見等】

- ・事務責任者会議等、上層部の参加する会議でこそ、このような講義を行ってほしい。
- ・できることは一通り経験することで、自分が新たにできることに気付き、自信につながる。"結果的に効率"につながる！